

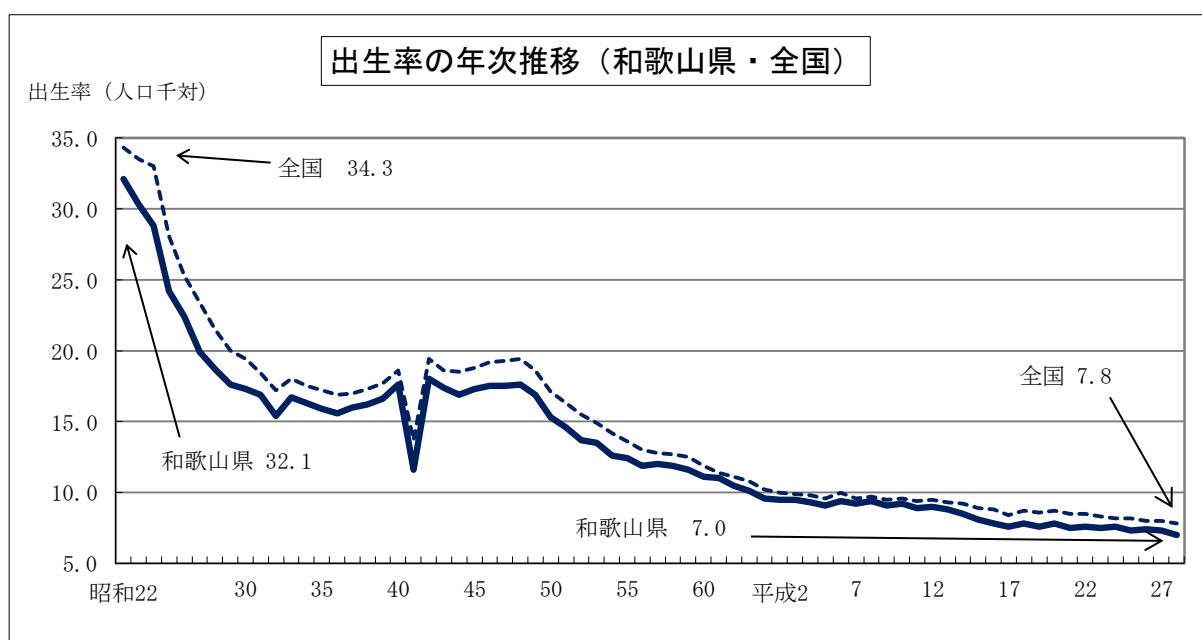
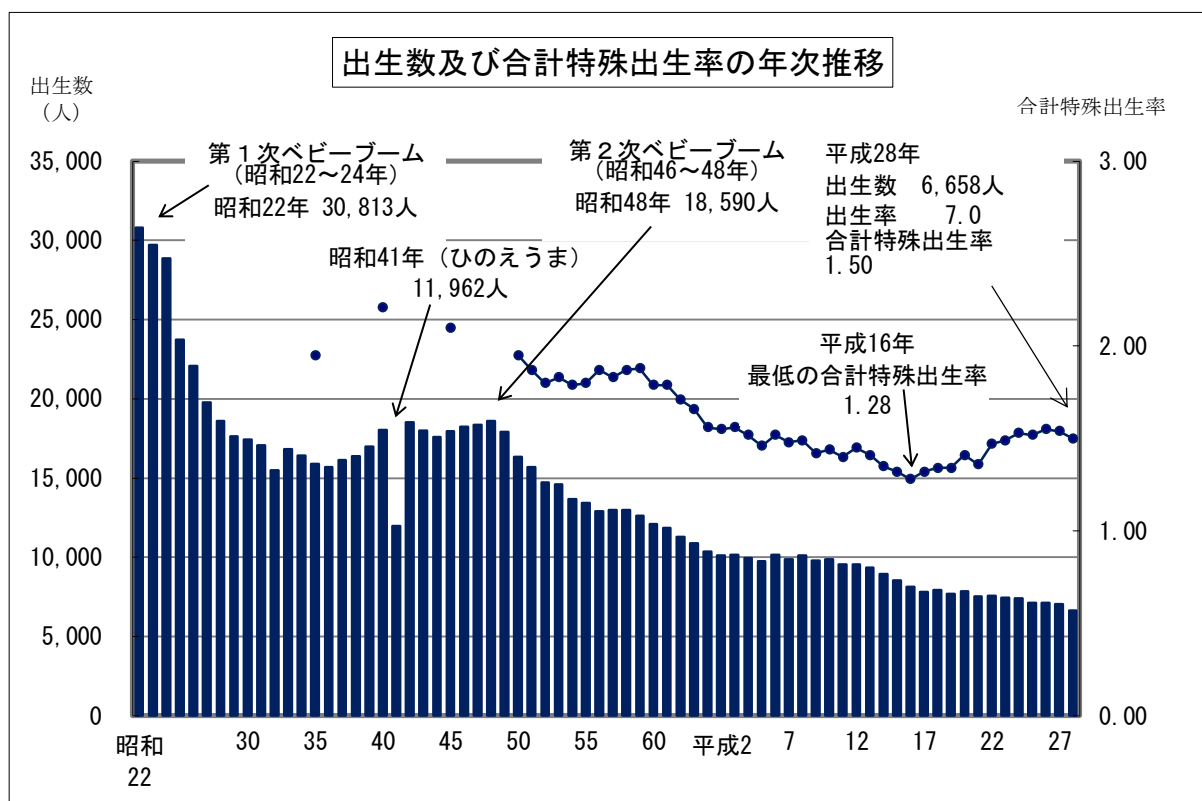
Ⅲ. 結果の概要

1 出生

平成28年の出生数は6,658人で、前年の7,030人より372人減少した。

出生率（人口千対）は7.0で、前年の7.3を下回った。また、合計特殊出生率は1.50で、前年の1.54を下回った。

昭和50年以降、出生数は減少を続け、平成に入ってから、増加と減少を繰り返しながら減少傾向にある。



出生順位別の母の平均年齢は、第一子の母の出産年齢が 29.8 歳、第二子の母の出産年齢は 31.8 歳でいずれも前年を 0.1 歳上回った。第三子の母の出産年齢は 33.3 歳で前年を 0.2 歳上回った。

和歌山県は全国に比べ、いずれの出生順位においても母の平均年齢は低い状況にあるものの、ここ 10 年では和歌山県・全国とも、いずれの出生順位においても上昇傾向にあり、特に第一子・第二子の出産年齢の上昇が大きい。

出生順位別母の平均年齢（歳）（和歌山県）

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
第一子	28.5	28.6	28.8	28.8	29.1	29.4	29.3	29.6	29.7	29.7	29.8
第二子	30.8	30.9	31.1	31.1	31.2	31.0	31.6	31.4	31.7	31.7	31.8
第三子	32.6	32.6	32.6	33.1	32.8	32.9	33.0	32.9	32.8	33.1	33.3

出生順位別母の平均年齢（歳）（全国）

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
第一子	29.2	29.4	29.5	29.7	29.9	30.1	30.3	30.4	30.6	30.7	30.7
第二子	31.2	31.4	31.6	31.7	31.8	32.0	32.1	32.3	32.4	32.5	32.6
第三子	32.8	32.9	33.0	33.1	33.2	33.2	33.3	33.4	33.4	33.5	33.6

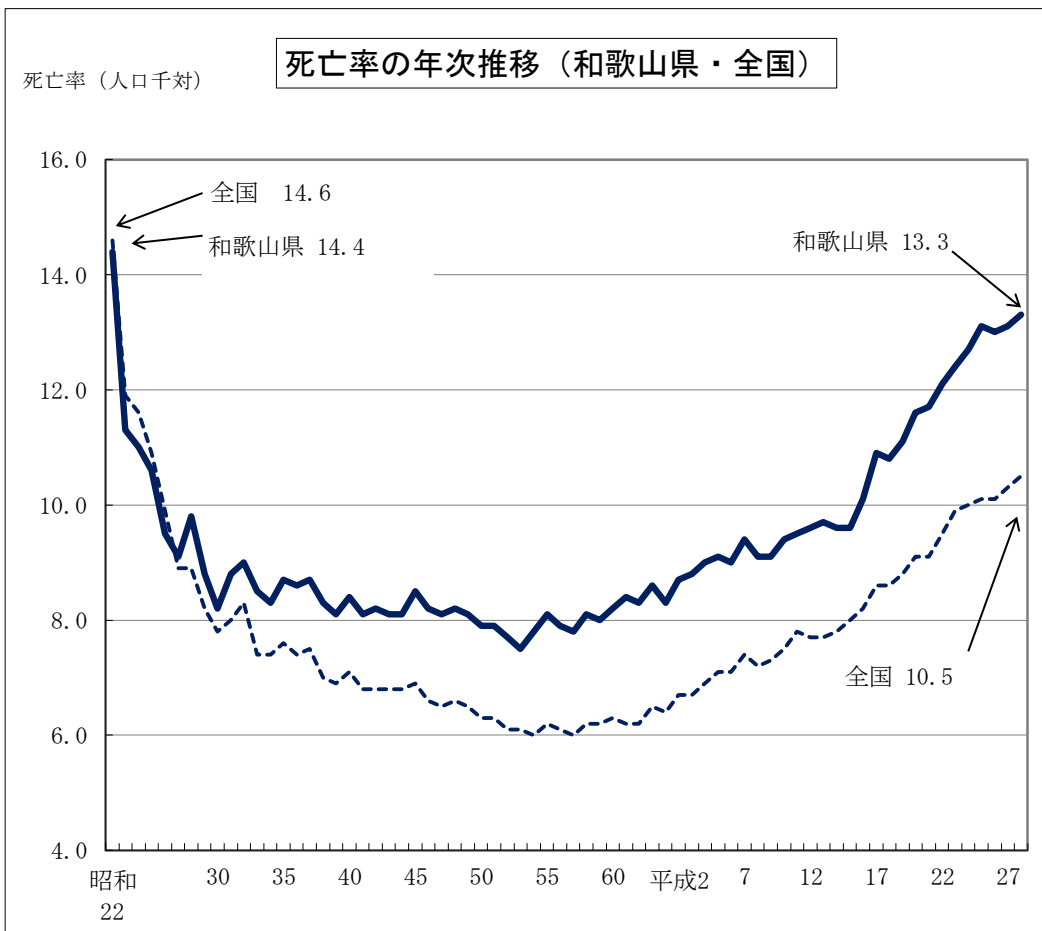
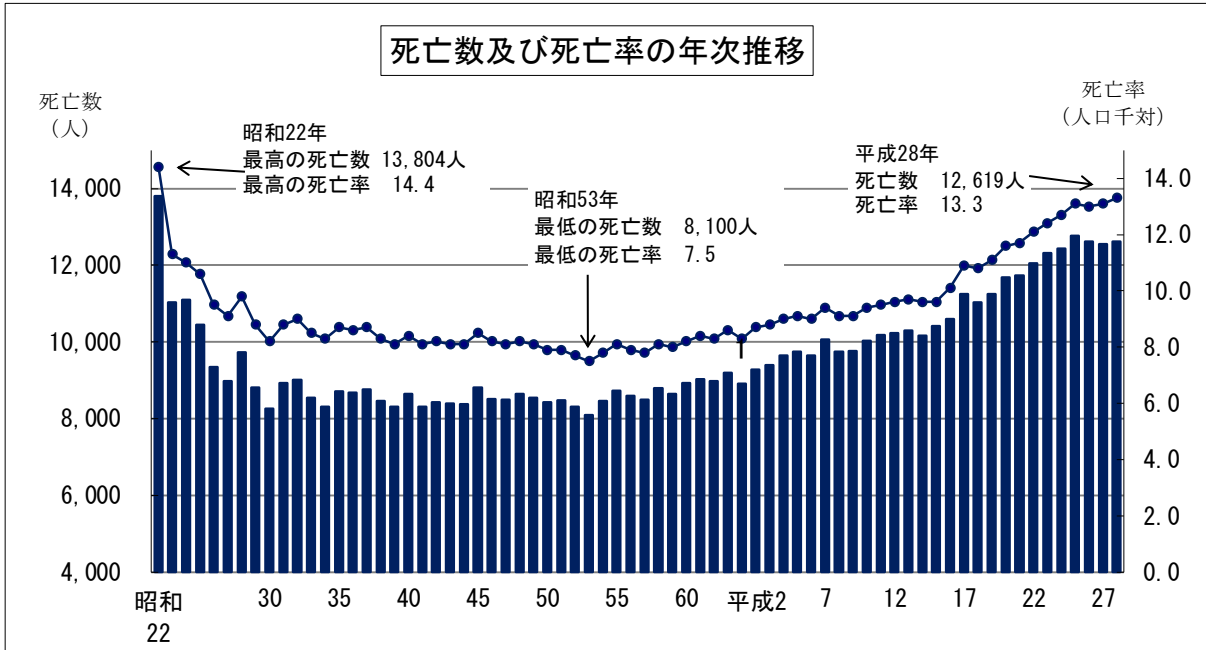
2 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成28年の死亡数は12,619人で、前年の12,549人より70人増加した。

死亡率（人口千対）は13.3で、前年の13.1を上回った。

昭和26年以降は8,000人前後で推移していたが、平成7年及び平成10年以降は1万人以上となり上昇傾向にある。



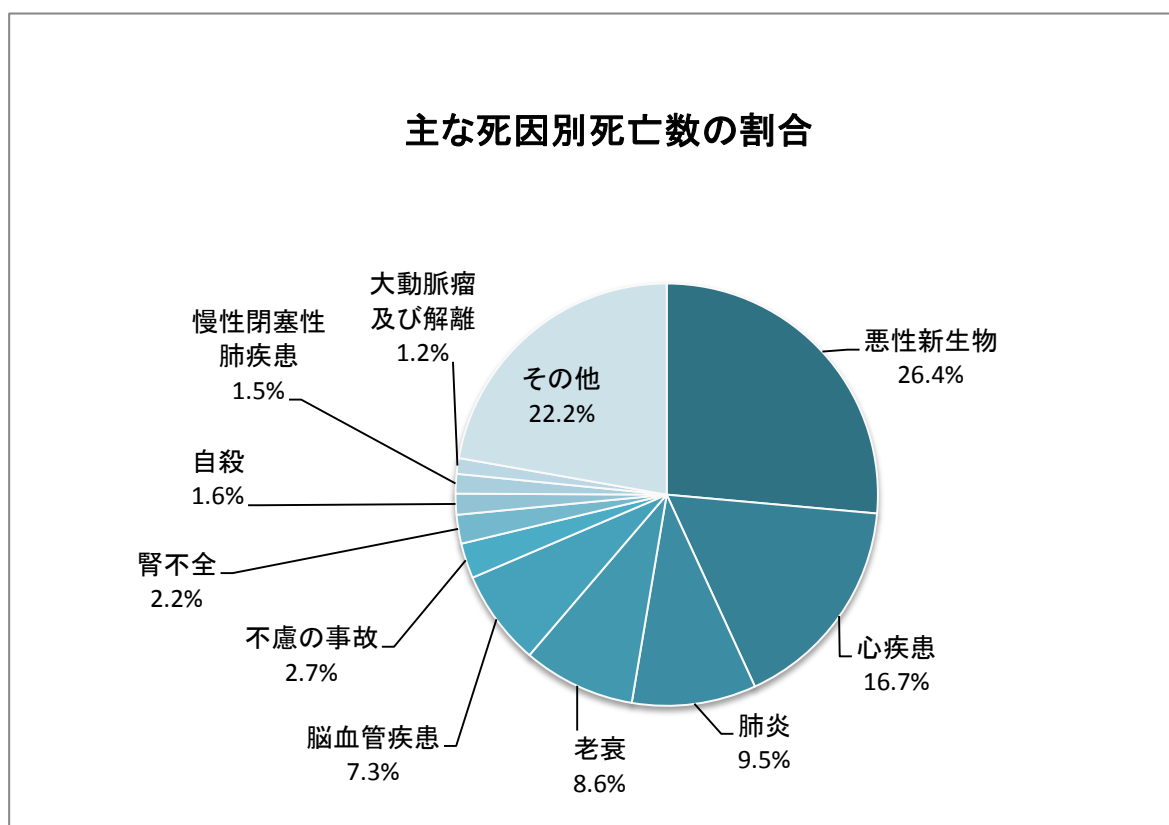
(2) 死因別死亡数

死因別に見ると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患（高血圧性を除く。）、第3位は肺炎であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ 26.4 %、16.7 %、9.5 %となっている。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物は昭和54年以降第1位となり、その後も上昇傾向が続いているが、平成28年の人口10万人当たり死亡率は350.8で、前年の355.1より4.3ポイント下がった。

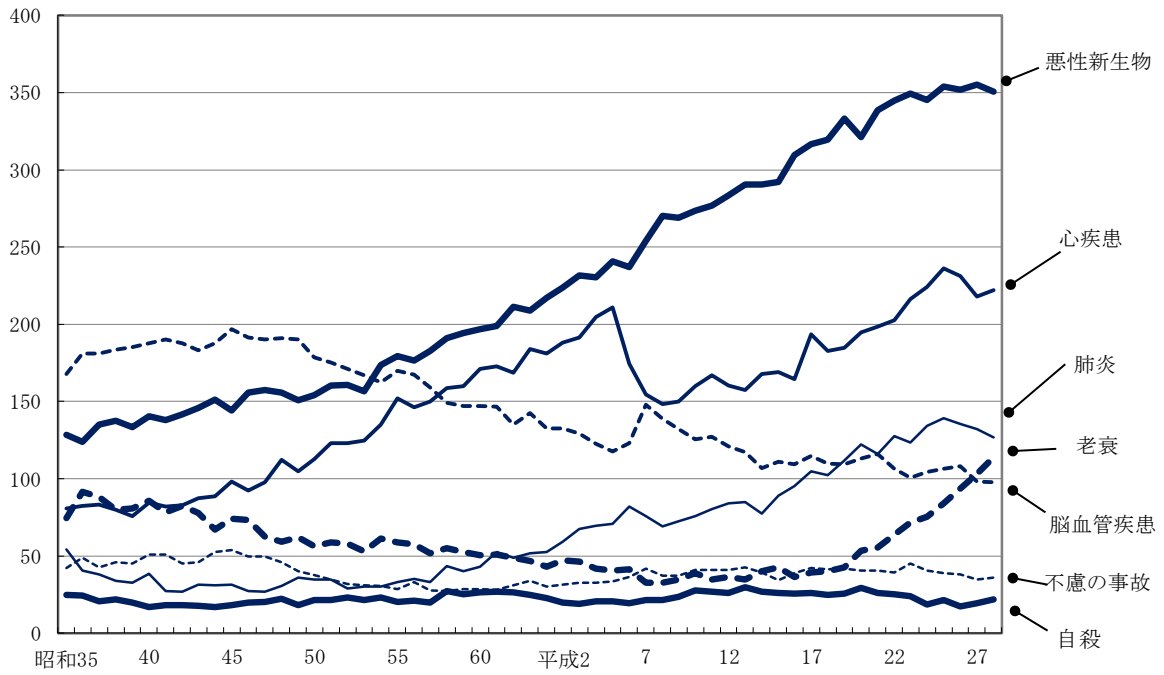
心疾患（高血圧性を除く。）は昭和58年に脳血管疾患にかわって第2位となり、死亡数・死亡率とも上昇傾向にあったが、平成6年から平成8年は減少した。しかし、平成9年以降は、増減はあるものの、また上昇傾向にある。

肺炎は平成18年まで4位であったが、平成19年からは脳血管疾患にかわって第3位となり、増減はあるものの上昇傾向にある。



死亡率
(人口10万対)

主な死因別に見た死亡率の年次推移



死亡数を死亡場所別に見ると、悪性新生物では1位「病院」2位「自宅」3位「老人ホーム」となっている。自宅および老人ホームでの死亡者数は増加傾向にあるが、病院での死亡者数は減少傾向にある。

心疾患では1位「病院」2位「自宅」3位「老人ホーム」となっている。

脳血管疾患では、1位「病院」2位「老人ホーム」3位「自宅」となっており、病院での死亡者数はおおむね減少傾向にある。

悪性新生物による死亡者数（人）（和歌山県）

	総数	病院	診療所	介護老人 保健施設	老人 ホーム	自宅	その他
H18	3,270	2,821	81	8	34	315	11
H19	3,384	2,885	75	14	35	359	16
H20	3,234	2,749	80	13	32	341	19
H21	3,385	2,893	100	11	29	336	16
H22	3,440	2,870	85	20	50	386	29
H23	3,457	2,967	62	16	49	341	22
H24	3,394	2,870	75	20	52	346	31
H25	3,451	2,810	94	29	63	429	26
H26	3,406	2,745	80	23	62	457	39
H27	3,405	2,740	81	27	79	435	43
H28	3,329	2,638	89	27	99	435	41

心疾患による死亡者数（人）（和歌山県）

	総数	病院	診療所	介護老人 保健施設	老人 ホーム	自宅	その他
H18	1,870	1,169	48	47	84	471	51
H19	1,876	1,212	54	39	81	464	26
H20	1,962	1,210	54	50	96	520	32
H21	1,985	1,231	75	40	112	492	35
H22	2,019	1,260	72	45	100	501	41
H23	2,140	1,313	59	54	108	574	32
H24	2,206	1,355	67	49	131	556	48
H25	2,304	1,465	75	63	130	535	36
H26	2,239	1,345	73	68	134	576	43
H27	2,090	1,258	71	76	139	516	30
H28	2,107	1,311	58	84	155	471	28

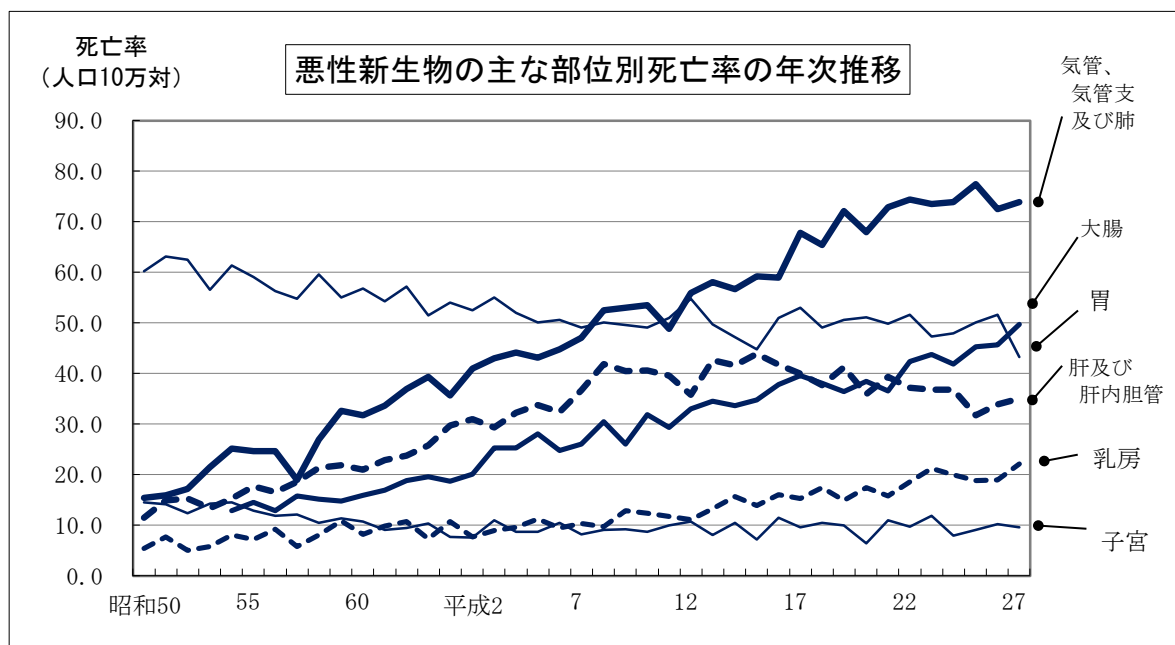
脳血管疾患による死亡者数（人）（和歌山県）

	総数	病院	診療所	介護老人 保健施設	老人 ホーム	自宅	その他
H18	1,121	854	39	30	64	127	7
H19	1,109	835	53	24	72	121	4
H20	1,140	865	41	20	86	120	8
H21	1,059	835	38	14	73	94	5
H22	1,060	809	39	20	58	122	12
H23	996	745	44	28	75	97	7
H24	1,025	767	41	42	82	79	14
H25	1,037	750	49	39	100	85	14
H26	1,044	783	57	29	87	80	8
H27	942	706	37	27	100	59	13
H28	925	705	31	37	82	55	15

(3) 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物での死亡数は 3,329 人であり、前年の 3,405 人よりも 76 人減少した。

悪性新生物の主な部位別死亡率は、1 位「気管、気管支及び肺」2 位「大腸」3 位「胃」となっている。「気管、気管支及び肺」は平成 8 年にはじめて「胃」を上回り、それ以降は平成 11 年を除き 1 位となっている。

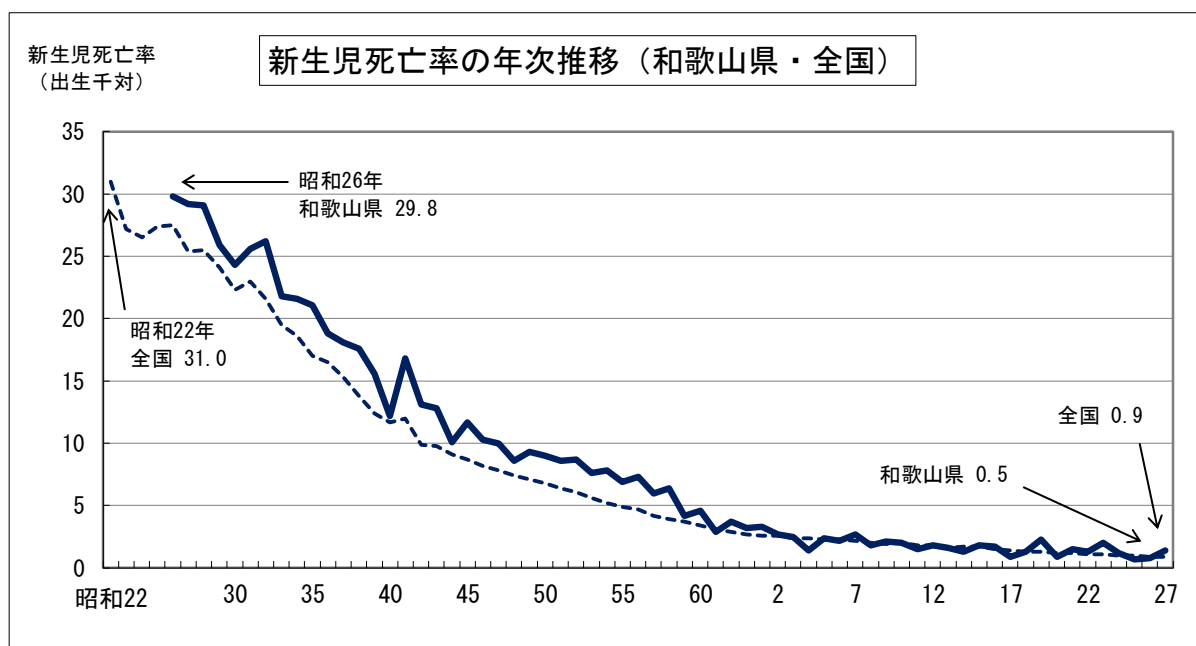


注) ①「大腸」は昭和 54 年からの分類である。

注) ②「乳房」「子宮」は女性 10 万人対の死亡率である。

(4) 乳児死亡、新生児死亡

平成 28 年の乳児死亡は 12 人で、前年の 13 人より 1 人減少した。
 乳児死亡率（出生千対）は 1.8 で、前年の 1.8 と同ポイントである。
 平成 28 年の新生児死亡は 3 人で、前年の 10 人より 7 人減少した。
 新生児死亡率（出生千対）は 0.5 で、前年の 1.4 を下回った。

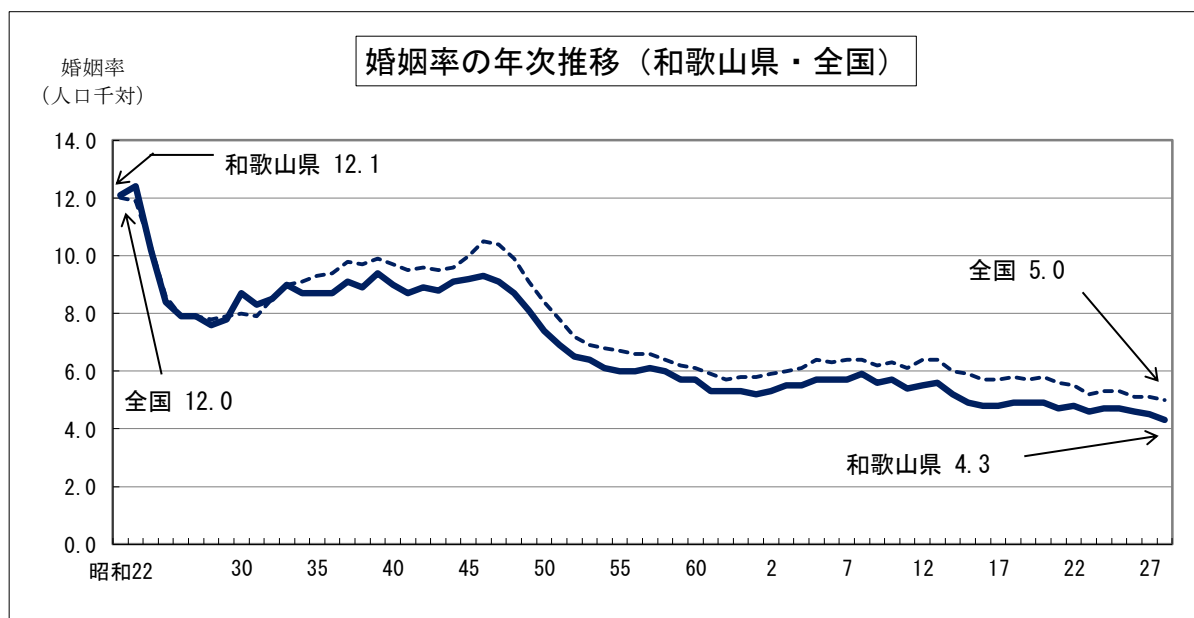
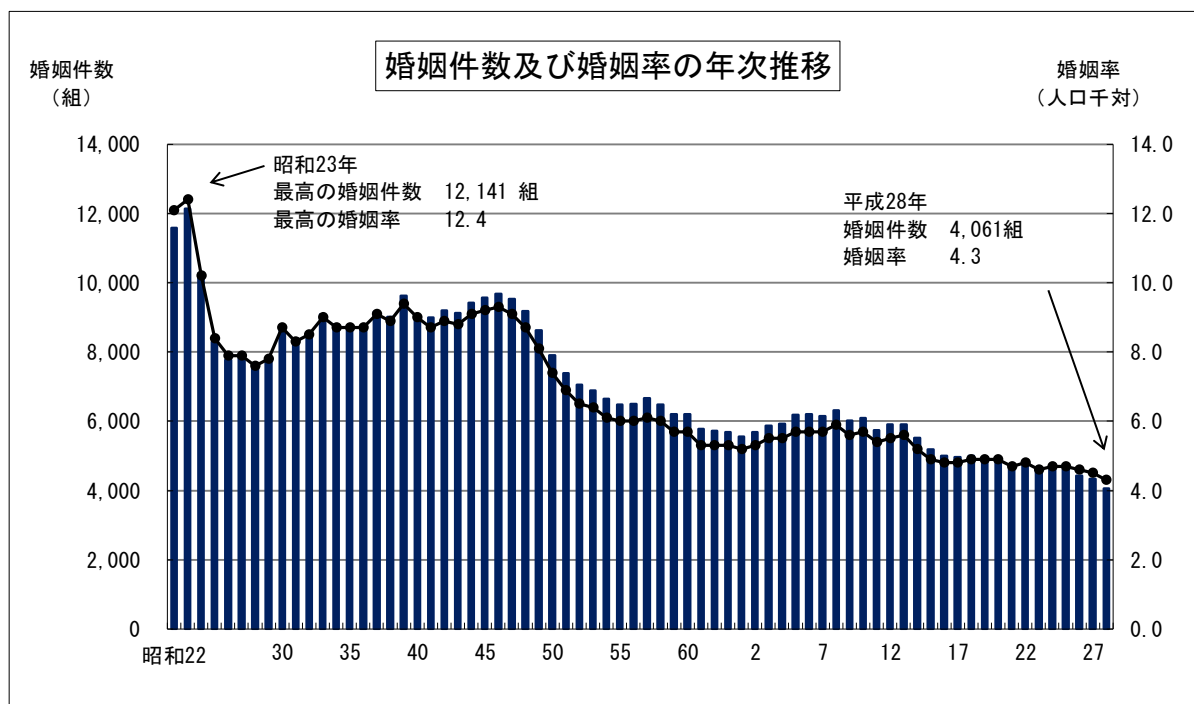


3 婚姻

平成28年の婚姻件数は4,061組で、前年の4,326組より265組減少した。

婚姻率（人口千対）は4.3で、前年の4.5を下回った。

昭和30年から40年代前半は9,000組前後で推移していたが、昭和47年以降は減少傾向となった。平成元年からは緩やかな増減を繰り返していたが、平成14年からは減少傾向にある。



平成 28 年の平均初婚年齢は、夫は 30.4 歳で、前年の 30.1 歳から 0.3 歳上昇した。妻は 28.7 歳で、前年の 28.5 歳から 0.2 歳上昇した。

全国では、夫が 30.8 歳、妻が 29.1 歳で、前年と同じであった。

和歌山県・全国とも、夫および妻の平均初婚年齢は上昇傾向にあり、ここ 10 年では和歌山県の夫が 1.2 歳、和歌山県の妻が 1.1 歳、全国の夫が 0.8 歳、全国の妻が 0.9 歳、それぞれ上昇しているが、いずれの年においても、和歌山県は全国を下回っている状況である。

平均初婚年齢（夫）の推移（和歌山県、全国）

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
和歌山県	29.2	29.3	29.5	29.7	29.7	29.9	30.0	30.2	30.3	30.1	30.4
全国	30.0	30.1	30.2	30.4	30.5	30.7	30.8	30.9	31.1	30.8	30.8

平均初婚年齢（妻）の推移（和歌山県、全国）

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
和歌山県	27.6	27.7	27.7	28.1	28.2	28.4	28.6	28.6	28.8	28.5	28.7
全国	28.2	28.3	28.5	28.6	28.8	29.0	29.2	29.3	29.4	29.1	29.1

4 離婚

平成28年の離婚件数は1,771組で、前年の1,891組より120組減少した。

離婚率（人口千対）は1.87で前年の1.97を下回った。

昭和38年以降、離婚件数は緩やかな増加を続け、昭和59年から減少するが、平成2年以降は急激に増加。平成14年をピークに減少傾向にある。

